PART3　いかでか～推量／願望／意志・いつしか～願望・かまへて～・はやく～けり

● いかで（か）～

- 推量＝
  - **【疑問】**「どうして～だろうか」
  - 【反語】「どうして～だろうか、いや、～でない」
- **願望・意志**＝「～したい・しよう」

（例）

いかで見ばやと思ひつつ、…

いかでこのかぐや姫を得てしがな。

いかでとく京へもがな。

（客を見送った後、すぐに部屋にもどらずに月を見ている女性を、作者は物陰から見ていた。）あとまで見る人ありとは、**いかでか**知らん。かやうのことは、ただ朝夕の心づかひによるべし。

問十　「今はいかで見聞かずだにありにしがな」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　今は何とかしてせめてあの人に関するうわさだけでも聞きたい
イ　今ではどんなに小さなことでもあの人について知らないことはない
ウ　今までどうしてあの人のうわさを耳にもせず過ごしてきたのだろう
エ　今はどうにかしてあの人のことを見たり聞いたりもせず過ごしたい
オ　今までどうしてあの人のことを見聞きせずにいられたのかわからない

問十一　「いかで思ふやうならむ人に盗ませたてまつらむと、明け暮れ『あたらもの』と言ひ思ふ。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なんとしてでも理想的な男君に落窪の君をお盗ませ申し上げたい。
イ　どういう手段で理想的な男君に落窪の君をお盗ませ申し上げるのか分からない。
ウ　なぜか北の方の思惑通りになるので、誰かに落窪の君をお盗ませ申し上げたい。
エ　思い通りの男君に落窪の君をお盗ませ申し上げることはどうやってもかなうまい。

● **いつしか～願望**＝「　　～したい・してほしい」

（例）**いつしか**聞かまほしく、…

● **かまへて～**
　禁止＝「　　～するな」
　命令・意志＝「　　～せよ・しよう」

（例）**かまへて**、念仏おこたるな。
　かまへて参り給へ。

● **はやく～けり**＝「なんと実は～だったよ」

（例）**早う**、翁の籠の瓜を取り出だし**ける**を…

問十二　「いつしか梅咲かなむ」の「いつしか」の意味として適切なものを、次の中から選べ。

ア　いつの間にか　　イ　はやく　　ウ　もはや　　エ　いったいいつか

問十三　「構へて見えさせたまふな」の口語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつでも会えるように心構えをしておいてください
イ　用心して外を見ないようにしてください
ウ　けっしてお姿をお見せにならないでください
エ　用心している気配が分からないようにしてください

問十四　「はやく違ひたりけり」の現代語訳として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　わずかながら違っているのです
イ　そもそもが違っていたのでした
ウ　すぐに違うことに気づきました
エ　手早いものの違っていたのです
オ　なんとまあ違っているのでした

第26講　PART3　確認問題

① 傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

雲のうへも涙にくるる秋の月<u>いかですむらむ</u>浅茅生（あさぢふ）の宿（やど）

ア　どうしても澄んでいる状態で見たいと思うが、きっと見られないだろう

イ　どうして澄んで見えることがあるだろうか、きっと澄んでは見えないだろう

ウ　どうにかして澄んで見るところに住みたいものだ

エ　どうしたら澄んで見えるだろうかということばかり考えてしまうものだ

② 「いかでよくて見せ［　　］。」が「どうにかして立派にして見せたいものだ」という現代語訳になるように空所に補う語として、最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　てしがな　　イ　ながら　　ウ　たり　　エ　ぬ

③ 「<u>いかでこの男にものいはむ</u>と思ひけり。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　どうしてこの男に思いを伝えるのですか

イ　この男に思いなどは伝えなくてよい

ウ　なんとしてでもこの男に思いを伝えたい

エ　このままならこの男に思いが伝わるはずだ

④「いつしか見ばや。」の「いつしか」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつの間にか　　イ　もはや　　ウ　はやく　　エ　いつの日か

⑤空欄A・Bに入る最も適当な語の組み合わせとして適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。なお、Aは禁止を、Bは命令・意志を表す文意となる。

かまへて申し［A］。
かまへて申し［B］。

ア　A・給へ、B・給ふまじ　　イ　A・給へ、B・給ひけり
ウ　A・給ひけり、B・給へ　　エ　A・給ふまじ、B・給へ

⑥「はやく山へ行かざりけり」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　早く山に行かないといけませんね
イ　なんとまあ山へ行かなかったのでした
ウ　元々山には行かないことになっていました
エ　かつては山に行きませんでした

第26講　PART3　解答

問十　エ
問十一　ア
問十二　イ
問十三　ウ
問十四　オ

第26講　PART3　確認問題　解答

〈解説〉

① 「いかで」の後に願望・意志を表す語はなく、現在推量の助動詞「らむ」と呼応しているので「疑問・反語」の用法である。選択肢の中で適当なのは、反語で解釈をしているイのみ。なお、傍線部には「どうして住んでいるだろうか」という疑問の意味も掛けられている。よって、イが正解。

② 「いかで～」の用法のうち、「どうにかして～したい」という訳になるのは、下に願望・意志を表す語を伴う場合である。選択肢の中で願望・意志を表すのは自己願望の終助詞であるアのみ。よって、アが正解。

③ 「いかで～」の「願望・意志」の用法であり、「なんとしてでも～したい・～しよう」と訳す。後の部分に「ものいはむ」と「意志」を表す助動詞があることから考える。よって、ウが正解。

④ 「いつしか」の後に、「まほし（助動詞）」・「ばや（助詞）」・「なむ（助詞）」・「もがな（助詞）」など、願望を表す語を伴って、「はやく～したい・してほしい」という願望を表す意味となる。よって、ウが正解。

⑤ A「かまへて」の後に、「まじ（助動詞）」・「な（助詞）」など禁止表現を伴って、「けっして～するな」という禁止を表す意味となる。B「かまへて」の後に、命令・意志を表す語を伴うと、「きっと～せよ・しよう」という意味となる。よって、エが正解。

⑥ 「はやく～けり」と、助動詞「けり」を伴う形で、「なんと実は～だったよ」という驚きを表す意味となる。よって、イが

正解。

〔解答〕

①　イ
②　ア
③　ウ
④　ウ
⑤　エ
⑥　イ